

<h2>1 総人口</h2> <p>◎前年比 -0.7% 19年連続減</p> <p>◎震災前比 H28=93.7 (H22=100.0)</p> <p>○国勢調査の結果（平成22年と平成27年）を比較すると5.7%減少し、全国で2番目に高い減少率であった。 ○平成29年7月1日時点の推計人口は1,884,646人となった。</p>	<p>基準：各年10月1日現在 出典：H22,27年=総務省「国勢調査結果」、その他の年=県統計課「福島県の推計人口」</p> <p>(人) (前年比：%)</p> <p>H20 H21 H22 H23 H24 H25 H26 H27 H28</p>
<h2>2 人口の移動状況(社会動態)</h2> <p>◎前年比 転入 -7.2% 転出 +2.3% 5年振り転出超過拡大</p> <p>◎震災前比 転入 H28=103.2 転出 H28= 97.4 (H22=100.0)</p> <p>○震災時に大規模な人口流出が生じ、平成24年以降は転出超過の縮小が続いていたが、5年振りに転出超過が拡大した。 ○平成28年は前年より転入者が7.2%減少、転出者が2.3%増加し、転出超過が前年より拡大した。</p>	<p>基準：各年1月1日から12月31日までの計 出典：県統計課「福島県の推計人口(福島県現住人口調査)」</p> <p>(人)</p> <p>↑転入 ↓転出</p> <p>社会動態</p> <p>H20 H21 H22 H23 H24 H25 H26 H27 H28</p>
<h2>3 合計特殊出生率</h2> <p>◎前年比 +0.01ポイント 2年振り増</p> <p>◎震災前比 H28=104.6 (H22=100.0)</p> <p>○本県の合計特殊出生率は震災以降、平成24年までは下降していたが、平成25年に上昇に転じ、震災前の水準へ回復した。 ○平成28年は前年から0.01ポイント上昇し、4年連続で全国を上回っている。</p>	<p>基準：年 出典：厚生労働省「人口動態統計」平成28年は月報年計(概数)</p> <p>(合計特殊出生率)</p> <p>全国 福島県</p> <p>H20 H21 H22 H23 H24 H25 H26 H27 H28</p>
<h2>4 県内総生産(名目)</h2> <p>◎経済成長率(前年度比) -1.6% 4年振り減</p> <p>◎震災前比 H27=104.9 (H22=100.0)</p> <p>○平成27年度の県内総生産(名目)は、製造業や卸売・小売業、建設業が減少したことから全体として減少し、経済成長率(名目)は4年振りにマイナスに転じた。 ○減少したものの、3年連続で7兆円を超え、震災前の平成22年度を上回る水準で推移している。</p>	<p>基準：年度 出典：県統計課「福島県県民経済計算」</p> <p>※計算方法の変更などにより早期推計と確報では大きな差が生じる可能性がある。</p> <p>(億円)</p> <p>総生産(名目) 経済成長率(名目) (経済成長率：%)</p> <p>H20 H21 H22 H23 H24 H25 H26 H27</p>
<h2>5 一人当たり県民所得</h2> <p>◎前年度比 -0.7% 4年振り減</p> <p>◎震災前比 H27=112.2 (H22=100.0)</p> <p>○平成27年度の一人当たり県民所得は284万2千円となり、4年振りに前年度の水準を下回った。 ○平成24年度以降、震災前である平成22年度の253万2千円を4年連続で上回って推移している。</p>	<p>基準：年度 出典：県統計課「福島県県民経済計算」</p> <p>※計算方法の変更などにより早期推計と確報では大きな差が生じる可能性がある。</p> <p>(千円) (前年度比：%)</p> <p>H20 H21 H22 H23 H24 H25 H26 H27</p>

<変化方向について>
 緑:良い動き 赤:悪い動き 黄:横ばい で表示。
 ※逆向き指標(企業倒産件数等)が減少した場合、下向きかつ緑(良い動き)の矢印となる。

<h3>6 夏秋きゅうり・桃の収穫量 New!</h3> <p>◎前年産比 夏秋きゅうり -1.5% 桃 +10.2% 夏秋きゅうり 横ばいで推移 桃 3年振り増</p> <p>◎震災前比 夏秋きゅうり H28=82.0 桃 H28=103.9 (H22=100.0)</p> <p>○平成28年産夏秋きゅうりと桃の収穫量はそれぞれ32,800トン、29,300トンとなった。 ○収穫量の全国順位は夏秋きゅうりが1位、桃が2位となっており、高い全国シェアを維持している。</p>	<p>基準:年 出典:農林水産省「作物統計」 ※平成28年は第1報(概数値)</p> <p style="text-align: right;">全国順位 (H28) 夏秋きゅうり 1位 桃 2位</p>
<h3>7 全国新酒鑑評会結果 (順位・金賞受賞数)</h3> <p>◎前年度順位比 H27 → H28 1位 → 1位 5年連続日本一</p> <p>◎震災前比 H28=1位 (H21=1位)</p> <p>○平成28酒造年度の本県産日本酒の金賞受賞数は22点であった。 ○金賞受賞数は5年連続で日本一であり、本県の酒づくりは高い評価を受けている。</p>	<p>基準:酒造年度(7月1日～翌年6月30日) 出典:独立行政法人酒類総合研究所、日本酒造組合中央会「全国新酒鑑評会審査結果」</p>
<h3>8 農産物輸出货量</h3> <p>◎前年度比 +55.1% 4年連続増</p> <p>◎震災前比 H28=39.9 (H22=100.0)</p> <p>○平成28年度の本県産農産物の輸出货量は平成22年度の4割程度まで回復し、4年連続での増加となった。 ○輸出拡大に向けた取り組みにより、桃などの青果物の輸出货量が増加し、桃は平成22年度の輸出货量を超え震災前の水準まで回復した。</p>	<p>基準:年度 出典:県産品振興戦略課「福島県農産物の輸出货量の推移」</p>
<h3>9 新規高卒者の就職内定率 New!</h3> <p>◎前年同期比 ±0.0% 2年連続99.9%</p> <p>◎震災前比 H28=101.8 (H21=100.0)</p> <p>○6月末時点における就職内定率は震災前を上回る水準となっており、平成28年度卒業者については前年同期と同じ99.9%で高水準で推移している。 ○県内留保率も震災前を上回っており、前年同期から0.2ポイント上昇し、82.6%となった。</p>	<p>基準:各年度卒業者の6月末現在の就職内定状況 震災前を基準とするため、H21(年度卒)を基準年としている 出典:県雇用労政課「新規高等学校等卒業者の就職内定状況」</p>
<h3>10 貨物輸送トン数 New!</h3> <p>◎前年度比 福島県着 -8.4% 福島県発 -4.6% 4年振り減</p> <p>◎震災前比 福島県着 H27=110.9 福島県発 H27=112.1 (H22=100.0)</p> <p>○震災前の貨物輸送は、発着ともに9,000万トン前後で推移していたが、平成23年度は大幅に減少した。 ○平成27年度は前年度比で4年振りに減少したが、平成25年度以降は発着ともに震災前の水準を上回って推移している。</p>	<p>基準:年度 出典:国土交通省「貨物地域流動統計」 ※調査対象貨物の範囲は鉄道、海運、自動車</p>

各指標の詳細なデータについては、出典元の各統計をご覧ください。